

第20回日本栄養改善学会

標記の学会は、昭和48年10月3日～5日の3日間にわたり、秋田市に全国から2,000名の会員が参加して行なわれた。分科会は4部門にわかれ、合計425題の報告がなされた。本研究所からは、人口移動部主任研究官内野澄子技官が出席し、第1分科会(栄養指導部門(A))要望課題(1)米食および外食と栄養について、「戦後における外食の変化とその意義」と題する報告を行なった。

なお、本年度のシンポジウムのテーマは「米を考える」、特別講演は「生きるための栄養教育」と題し行なわれ、活発な討論が行なわれた。(内野澄子記)

第25回日本家政学会総会

第25回日本家政学会総会は、昭和48年10月6日および7日の両日にわたり、福島県郡山女子大学において開催された。

一般研究発表は7分科会に分かれ合計347題の報告が行なわれた。本研究所からは、人口移動部内野澄子技官が出席し、6分科会(家庭経営、家政学原論・家族関係)において、「消費生活の地域格差についての1つの分析(2)」と題する報告を行なった。

なお、本年度は、特に世界人口年ということが本学会においても強調された。(内野澄子記)

第46回日本社会学会大会

第46回日本社会学会大会は、昭和48年10月13日(土)、14日(日)の2日間、日本大学の開催、国立教育会館を会場にして開催された。13日午前中の一般研究報告に続いて、午後は、A. 組織変革の理論、B. 上部構造論の再検討—上部構造におけるイデオロギーとユートピア、C. 保健・医療の社会学、D. 全国都市の再編過程、E. 社会学方法論の再検討の以上5つのテーマ部会が設置された。今年度はCが新しい部会として登場し、盛会であったこと、D部会で本研究所の黒田俊夫人口政策部長が「大都市と地方都市間の人口移動」を発表し、注目を集めたことが指摘できる。次いで第2日目は午前中の一般研究報告に続き、午後にはシンポジウム「アジアの社会と文化をどうとらえるか」があり、諸科学の各立場から、アジア研究への視角が論議された。(若林敬子記)

第8回日本老年学会総会・第15回日本老年医学学会総会・第15回日本老年社会学会大会

標記の3学会総会および大会が昭和48年11月1日(木)～3日(土)の3日間にわたり、福岡市中央区渡辺通の電気ホールにおいて開催され、本研究所から、上田正夫(所長)、山口喜一(資料課長)の両技官が出席した。

日本老年学会としては、総会会長(九州大学 勝木司馬之助)講演「久山町の老人について」を始め、特別講演「老衰死はあるか」(東京都養育院附属病院 亀山正邦)および「老人福祉と相続慣行——末子相続と隠居分家」(九州大学 内藤莞爾)が行なわれ、さらにシンポジウムとして、老年社会学会大会・老年医学